



今城 克啓 議員

高島リビング・シフト 構想の推進について

問 全国の先進事例を創り上げて

はかがか

答 仕事で本市に関わる関係人口の開拓を重要な要素としています。

問 テレワークやワーケーション

ンおよびサテライトオフィスの誘致を関係人口づくりの柱として前面に打ち出して、ハードやソフトに集中的に投資し、全国の先進事例を創り上げてはいかがか。

答 政策部長

テレワークやワーケーション、また副業や兼業といった方法も含めて、仕事で本市に関わる関係人口の開拓を、この構想の重要な要素としています。

問 各プロジェクトの趣旨に沿った民間の取り組みについて

では、同構想関連事業として位置づけて、市が共催や協賛をしたり、市が民間と一緒にやって宣伝したり、あるいは国の交付金の窓口になるなどの支援をしてはどうか。

答 政策部長

市内の民間活力との連携は不可欠であると考えますので、構想がめざす姿を市民の皆様にお伝えしながら、地域のような活力を結集していきたいと考えています。

問 インターネット環境を始めとしたハード面での環境整備

と、それに対する国の交付金の様々なメニューの活用については、令和4年度以降どのように進めていかれるのか。

答 政策部長

本年1月に全国知事会から国に対し、光ファイバ未整備地域の課題を解消するため、新たな支援制度の創設を求め、国の新たな支援制度の動向を注視していくとともに、引き続き、通信事業者に対しては、サービスエリアの拡大

について強く働きかけてまいります。また、サテライトオフィスの整備等、該当する事業が出てきた場合には積極的に交付金を活用してまいります。

問 事業者だけではなく、国に対して直接働きかけ、メニューを協議することが必要であると思うが。

答 政策部長

全国知事会の提言を受けて国でどういった制度設計をされていくのか、市としては注視をしていきたいと考えています。

その他の質問

● 高等専門学校誘致について

